

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |              |     |                |
|----------------|--------------|-----|----------------|
| ○事業所名          | ビビット春日野      |     |                |
| ○保護者評価実施期間     | 2026年 1月 23日 |     | ～ 2026年 2月 8日  |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)       | 24人 | (回答者数) 12      |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年 1月 22日 |     | ～ 2026年 1月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)       | 6   | (回答者数) 6       |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 10日 |     |                |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※) だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                | さらに充実を図るための取組等   |
|---|---|--------------------------------------|--|
| 1 | プログラムの内容によって部屋を分け、運動部屋は広く使えるようにしている。        | 子どもの状況に応じたサポートを行い、個別、小集団の療育に取り組んでいる。 | ロールプレイを実施し、スタッフが自分の課題・問題点を把握する。                                  |
| 2 | 連絡事項やこどもの日々の様子を保護者とスタッフがリアルタイムに共有できている。     | スマホのアプリを利用し、保護者と連携しやすい環境を整えている。      | 共有している情報をもとにどのように対応するか等、報連相の質、正確性、効率性を高める取り組みを行う。                |
| 3 | プログラムに偏りがないように、曜日によって違う療育を取り入れている。          | 定期的に療育会議を行い、PDCAサイクルでプログラムの改善を行っている。 | 日々の記録に基づき、スタッフ全員で個別の評価・分析を行い、各々の特性に最適な運動プログラムを更新し、支援環境をより良くしていく。 |

|  | 事業所の弱み(※) だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|--|--------------------|-------------------|----------------------|
|--|--------------------|-------------------|----------------------|

|   |                        |   |                                 |
|---|------------------------|---|---------------------------------|
| 1 | 保護者間の交流や保護者への研修の機会が少ない | スタッフが保護者交流のファシリテーターとして、役割を担うためのスキル獲得を熟知する必要がある。 | スタッフの勉強会や研修を行い、スキルアップができるようにする。 |
| 2 |                        |   |                                 |
| 3 |                        |   |                                 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

|      |         |
|------|---------|
| 事業所名 | ビビッド春日野 |
|------|---------|

公表日 2026年2月24日

利用児童数

24人 2026年2月10日

回収数 12

|                                      |  | チェック項目  |    |               |     |       | ご意見   | ご意見を踏まえた対応  |
|--------------------------------------|--|---|----|---------------|-----|-------|---|---|
|                                      |  |   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない |   |   |
| 環境・<br>体制<br>整備                      | 1  | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。  | 11 |               |     | 1     | 運動の療育と部屋が別に分かれていて、活動スペースがあると思います。   | 運動、その他の時間と部屋分けを行いつつ、児童の気持ちの切り替えを図っていきます。                                      |
|                                      | 2  | 職員の配置数は適切であると思いますか。   | 9  |               |     | 3     |   |   |
|                                      | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。  | 11 |               |     | 1     |   |   |
|                                      | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。   | 10 | 1             |     | 1     |   | 毎日掃除、アルコール消毒を行っています。療育道具など配置場所を決め、分かりやすくしています。児童にも分かるよう写真などで提示していきます。         |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供     | 5  | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。  | 11 | 1             |     |       |   | 児童に変化があった際には、職員間で情報共有を行い、支援の方針を決めています。  |
|                                      | 6  | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。  | 11 | 1             |     |       |   | 運動、療育の時間を設けています。毎回偏りのないようにプログラムを考えていきます。                                      |
|                                      | 7  | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。   | 12 |               |     |       |   |   |
|                                      | 8  | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 12 |               |     |       |   |   |
|                                      | 9  | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。  | 12 |               |     |       |   |   |
|                                      | 10   | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。   | 11 | 1             |     |       | 運動療育がその月によって、色々と考えて行われているように思います。   | 固定されないよう1~2か月ごとに内容を変えたり、曜日を変えて取り組んでいきます。                                      |
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等 | 11   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。  | 1  | 4             | 2   | 5     |   | 地域の他の児童との交流は難しいのですが、他事業所の児童との関わりを増やしたり、今後は地域のイベントに参加するなど、交流を持てるようにしたいと思っています。 |
|                                      | 12   | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。   | 12 |               |     |       |   |   |
|                                      | 13   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。   | 12 |               |     |       |   |   |
|                                      | 14   | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。  | 1  | 3             | 3   | 5     |   | 研修等は設けられていないですが、事業所での成功体験を送迎時にお伝えするようにしています。保護者からの希望があれば検討していきます。             |
|                                      | 15   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。  | 10 | 2             |     |       | 面談を定期的に行っているため、情報共有や、共通理解ができています。   | 事業所での様子を面談や送迎時にお話ししています。その際にご家庭での様子もお聞きしています。                                 |
|                                      | 16   | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。   | 11 | 1             |     |       | ビビッドさんでの様子を教えて頂いたり、アドバイスを頂いたりして、とても有り難く思っています。  | 保護者と職員間で情報共有を行い、実施していきます。   |
|                                      | 17   | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。   | 12 |               |     |       |   |   |
|                                      | 18   | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。          | 1  | 2             | 3   | 6     | 情報を得る場所が限られているので、全事業所合同で保護者会を行って頂き(事業所が多いデイトンでは、合同で保護者会をしています)、情報共有をしたり職員の方の話を聞いたりする機会をつくって頂けると嬉しいです。 | 感染症対策もあり、機会を作ることが出来なかった。ご要望があれば検討していきたいと思っています。                               |
|                                      | 19   | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。                                | 8  | 3             |     | 1     |   | 相談や申入れがあれば、対応するように心がけていますが、相談や申入れがある場合の窓口がわかりやすいようにお伝えしていきます。                 |
|                                      | 20   | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。   | 12 |               |     |       |   |   |
| 21                                   | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 8   | 2  |               | 2   |       | アプリを使用し、保護者へ伝えていきます。実施のお知らせや報告を送迎時に口頭でも伝えていきます。   |   |

|         |    |  |    |   |  |   |   |   |
|---------|----|--|----|---|--|---|---|---|
|         | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。   | 11 |   |  | 1 |   | 個人情報に関わるものは施錠ができるキャビネットの中で保管をするようにしています。                          |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 9  | 1 |  | 2 |   | 職員自身研修会やマニュアルを使用している勉強を行っています。児童は避難訓練やイベントでの学習をし、保護者に伝えています。      |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。   | 8  | 1 |  | 3 |   | 定期的に避難訓練を行い、避難場所の確認や備蓄について学ぶ時間を作っている。                             |
|         | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。                             | 10 | 2 |  |   |   | 毎日ヒヤリハットをあげ、危険防止に努めています。  |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。                              | 10 | 1 |  | 1 |   | 緊急時対応マニュアルのフローの通り、緊急性に応じた対応を行っている。送迎時に再度状況、怪我の程度、対応について説明を行っています。 |
| 満足度     | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。   | 12 |   |  |   |   |   |
|         | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。   | 10 | 2 |  |   | 毎日行くのを楽しみにしていて、お休みの日も行きたいと言っている時があります。  | 児童に楽しみを持ってもらえるスケジュール、プログラムになるよう配慮しています。                           |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。   | 12 |   |  |   | 送迎時に丁寧に今日あったこととお話したり、面談したい時に面談の日程調整を行ない、面談を行って頂けるので、他の事業所や学校とも情報共有が行ないやすく助かっています。 | 日々の活動について詳しくお話ししたり、できるようになったことを増やしていくよう努めていきます。                   |

|    |               |
|----|---------------|
| 公表 | 事業所における自己評価結果 |
|----|---------------|

| 事業所名     | ビビッド春日野 |  |     | 公表日     | 2026年 2月 24日  |                                      |
|----------|---------|--|-----|---------|---|--------------------------------------|
|          | チェック項目  | はい   | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点   |                                      |
| 環境・体制整備  | 1       | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | ○   |         | 2部屋あり、運動(身体を動かす)部屋とプレイルーム(座位作業)でどちらも広く使用できるようになっている。  |                                      |
|          | 2       | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。   | ○   |         | 利用児童の特性や人数を考慮し、 職員の配置数を決めている。   |                                      |
|          | 3       | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | ○   |         | 視覚的にもわかりやすいように注意書きを壁に貼るようにしている。   | 段差など気を付ける必要がある場所にはポスターなど壁に貼り、注意を促す。  |
|          | 4       | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | ○   |         | 毎日、掃除・アルコール消毒を行っている。  | 事業所内の危険はないかを定期的に確認し、改善や修復を行う。        |
|          | 5       | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | ○   |         | プレイルームと運動室が分けられており、クールダウンできる空間がある。  |                                      |
| 業務改善     | 6       | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | ○   |         | 1日の業務のルーティンを作り、それをもとに業務を取り組み、全員がラインワークス(職員間の報告、連絡、相談のチャットアプリ)で報告を行い、意見を取り入れるようにしていく。                |                                      |
|          | 7       | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | ○   |         | アンケートを実施し、面談時に聞き取れなかった希望や意見を聞き取り事業所にて会議を行っている。  |                                      |
|          | 8       | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | ○   |         | 定期面談をして具体的な業務改善のポイントをスタッフと話し合い、その内容をもとに事業所内で話し合っている。  |                                      |
|          | 9       | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   |     | ○       |   | 完全な第三者ではないが、グループ内の各事業所が集まって改善に努めている。 |
|          | 10      | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | ○   |         | 毎月ネットミーティングや実際に集まる研修、周知研修という形で行っている。  |                                      |
| 適切な支援の提供 | 11      | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | ○   |         | ホームページに掲載している。  |                                      |
|          | 12      | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | ○   |         | アセスメントを活用して、児童や保護者との面談内容をもとにスタッフの情報も加味した上で計画作成を行なっている。  |                                      |
|          | 13      | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | ○   |         | 面談には、児童発達支援管理責任者と共にスタッフも同席し、計画案の一部を提案し、児童発達支援管理責任者が作成を行なっている。                                       |                                      |
|          | 14      | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | ○   |         | 計画作成の手順の中に指導員が関わるようにしており、支援内容は共有されている。支援する際には注意事項をラインワークスで共有し、計画に沿った支援を行うようにしている。                   |                                      |
|          | 15      | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | ○   |         | 日々の気づきについては、ラインワークスを用いて情報共有している。  |                                      |
|          | 16      | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○   |         | ガイドラインについては、事業所のマニュアルで理解を深めている。担当者会議で意見を出し合いながら支援内容を決定している。   |                                      |
|          | 17      | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | ○   |         | 活動プログラムの立案については、事業所内で会議後、グループ内で担当者を選出し、会議をもとに立案している。事業所内では、決められた内容をもとにその日の児童の特性に合わせた活動プログラムを作成している。 |                                      |
|          | 18      | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | ○   |         | 1か月に1回会議を開催し、現在のプログラムの状況の確認や課題、問題点の改善や新たなプログラムについて打ち合わせを行っている。曜日別や月毎に活動プログラムを変えるなど工夫をしている。          |                                      |

|              |  |  |   |  |  |   |
|--------------|--|--|---|--|--|---|
|              | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | ○ |  | 支援計画に集団活動と個別活動の内容を入れており、日々の活動プログラムも個別・集団活動に取り組みのように支援している。       |   |
|              | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | ○ |  | 支援開始前にタイムスケジュールや役割分担、活動内容についてラインワークスで共有し、連携して支援を行っている。           |   |
|              | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | ○ |  | ラインワークスで当日についての情報共有を行い、口頭で話し合った内容も全スタッフが振り返りや気づいた点を共有できるようにしている。 |   |
|              | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | ○ |  | 日々の支援に関してラインワークスで記録を取り、その内容について検証し改善点も記録して次の支援につなげるようにしている。      |   |
|              | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | ○ |  | 6ヶ月に一度モニタリングと保護者との面談を実施し計画の見直しを行い、必要に応じて変更している。                  |   |
|              | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | ○ |  | 集団運動や療育プログラム、施設内イベント、施設外イベントを通じて遊びや外出、集団活動、地域交流を行っている。           |   |
|              | 25   | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | ○ |  | 日々の活動プログラムの大きな流れや手順は設定しているが、やり方等は児童が工夫できるようにしている。                |   |
| 関係機関や保護者との連携 | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | ○ |  | 担当者会議や関係機関との会議には、事前に情報収集・整理して職員全員が児童の状況を理解して参加している。              |   |
|              | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | ○ |  | 協力医療機関とは協定を結んでいる。その他各関係機関については、積極的に連絡を行い、連携して支援を行う体制を整えている。      |   |
|              | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | ○ |  | 学校から行事予定の連絡をもらったり、送迎トラブルが発生しないよう事前に連絡を取るなど適切に行っている。              |   |
|              | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | ○ |  |  | 就学前の支援計画等を保護者から貰うようにしている。今後、保護者の承諾を得たうえで、直接就学前に利用していた各関係機関と情報共有できるようにしていく。      |
|              | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | ○ |  |  | 卒業後の障害福祉サービスへの移行に関する問題点を保護者と共有しながら日々の支援を行っている。今後、その内容について積極的に情報共有できるようにしていく。    |
|              | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | ○ |  |  | 今後、必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けていく。   |
|              | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | ○ |  |  | 今後、放課後児童クラブや地域のイベントに参加する機会を設けて交流できるようにしていく。                                     |
|              | 33   | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | ○ |  |  | 今後、参加するようにしていく。   |
|              | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | ○ |  |  | 送迎の際に保護者と情報交換をしたり、アプリのチャットツールを利用することで状況や課題について共通理解を図っている。                       |
| 35           | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○  |   |  | 今後、家族等が参加できる研修の機会を設けていく。   |   |
| 保            | 36   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | ○ |  |  | 重要事項(運営規定)、支援内容、利用者負担、支援プログラム等は、契約時に説明を行っている。                                   |
|              | 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ |  |  | アプリのチャットでいつでも連絡しやすい環境を整えている。保護者とは、定期的な面談を行い意向を確認している。今後、児童とも面談を行い意思を確認する機会を設けてい |
|              | 38   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | ○ |  |  | アプリを用いていつでも支援計画の内容が確認できるようにしている。それをもとに説明を行い、同意を得ている。                            |
|              | 39   | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                      | ○ |  |  | 相談があった場合は、事業所内で内容を共有し、対応する内容について打ち合わせを行い、必要に応じて面談や送迎時やチャットで助言を行っている。            |

|         |  |  |   |                        |  |  |
|---------|--|--|---|------------------------|--|--|
| 護者への説明等 | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 |   | ○                      |  | 今後、保護者の交流の機会を設けていく。また必要に応じて兄弟が交流できる機会を設けて行く。 |
|         | 41   | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       |   | ○                      | 苦情対応の体制は整備しており、保護者への周知については、契約時に行っている。苦情があった場合は、事業所内で共有し、対応している。         |  |
|         | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   |   | ○                      | アプリの活動記録で行事予定とその概要をいつでも見られるように保護者に公表している。                                |  |
|         | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  |   | ○                      | パソコンやスマホのアプリについては、IDとパスワードで保護しており、書類については鍵のついたキャビネットで保管している。             |  |
|         | 44   | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  |   | ○                      | 児童には、絵カードやマカトンサイン等様々なツールを利用して意思の疎通の配慮をしている。                              |  |
|         | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  |   | ○                      |  | 今後、事業所でおこなっているイベント予定などが近隣の地域住民にわかるようにしていく。   |
| 非常時等の対応 | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            |   | ○                      | マニュアル作成し職員への周知は行い、計画に基づいて訓練をしている。保護者への周知は、面談等を通じて行っていく。                  |  |
|         | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  |   | ○                      | BCPを策定し、計画に基づいて訓練を行っている。   |  |
|         | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。  |   | ○                      | 事前に保護者からの連絡をもとに服薬や予防接種、てんかん発作等重要なことについては確認し、職員全員が情報共有できるようにしている。         |  |
|         | 49   | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   |   | ○                      | 食物アレルギーのある児童については、活動内容に応じて、保護者を通して適切な対応をしている。                            |  |
|         | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               |   | ○                      | 安全計画に基づいて研修や訓練、点検等を行っている。  |  |
|         | 51   | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  |   | ○                      | 児童の安全確保に関して、安全計画に基づき訓練等を行っている。今後、家族等との連携が図れるよう面談を通して家族等に周知していく。          |  |
|         | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  |   | ○                      | ヒヤリハットについては、日々記録を行い事業所内で共有し、対策の有効性も会議の中で検討している。                          |  |
|         | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   |   | ○                      | 安全計画に基づき訓練を行っている。ガイドラインを策定し、入社時に周知し、その後改定する毎にスタッフ全員に周知している。定期的に研修も行っている。 |  |
| 54      | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 |  | ○ | 対象となる児童がいらないため実施していない。 |  |  |